

自今大体的 (隊號 階級 氏名等) 一 綿密に記載スルヲ要ス  
 以上一月二十日所屬團會報に達事項  
 左記に依り月別身体検査に官員施ス  
 記

月	日	時	間	受 驗 部 隊	場 所	
同	一月二十五日	〇	九	〇	天倉隊	本部醫務室
同		一	〇	〇	松田隊	同
同		一	三	〇	本部通信作業	同
同		一	三	〇	伊藤隊	同
同		一	四	〇	松島隊	同
同		一	五	〇	水崎隊	同
同		一	五	三	須川隊	同
同	一月二十六日	一	三	〇	前日脱漏者	同
同		一	四	〇	橋本隊	同

備考  
 一 江戸隊外山隊、日時場所ハ別ニ示ス

一月二十五日晴	不曜	於	玉城國民學校
作戰命令一	〇	十	隊ヲ現前處ニ復級セシムベク別紙
日々命令二	〇	十	隊ヲ現前處ニ復級セシムベク別紙
會 報 三	〇	十	隊ヲ現前處ニ復級セシムベク別紙
會 同 四	〇	十	隊ヲ現前處ニ復級セシムベク別紙
會 同 五	〇	十	隊ヲ現前處ニ復級セシムベク別紙
勤 勞 六	〇	十	隊ヲ現前處ニ復級セシムベク別紙
現 員 七	〇	十	隊ヲ現前處ニ復級セシムベク別紙

一月二十五日晴 不曜 於 玉城國民學校  
 作戰命令一 〇 十 隊ヲ現前處ニ復級セシムベク別紙  
 日々命令二 〇 十 隊ヲ現前處ニ復級セシムベク別紙  
 會 報 三 〇 十 隊ヲ現前處ニ復級セシムベク別紙  
 會 同 四 〇 十 隊ヲ現前處ニ復級セシムベク別紙  
 會 同 五 〇 十 隊ヲ現前處ニ復級セシムベク別紙  
 勤 勞 六 〇 十 隊ヲ現前處ニ復級セシムベク別紙  
 現 員 七 〇 十 隊ヲ現前處ニ復級セシムベク別紙



石第三五九六部隊日々命令

五月二十五日 藤田信治

第三中隊 陸軍上等兵

第二中隊 陸軍一等兵

第一中隊 陸軍兵長

同 陸軍上等兵

第二中隊 同

第三中隊 同

第一中隊 陸軍一等兵

右者石第一八八二部隊 轉屬ヲ命ス

機關銃中隊 陸軍上等兵

同 陸軍一等兵

第一中隊 同

第五中隊 同

同 同

第二中隊 同

第三中隊 同

步兵砲中隊 同

第二中隊 同

桑江良	大森	榑原	大野直美	佐藤利八	高島鐵天	青山明義	竹内卓藏	濱野辻平	出森口武男	中岡武司	山本新助	福西兵詞	大橋伸彌	藤田信治
-----	----	----	------	------	------	------	------	------	-------	------	------	------	------	------

三 右春石第四二八一部隊 陸軍衛生上等兵 高木 孝 臣

四 右春大隊本部醫務室 功務ヲ免ス 片岡 幹 藏

五 右春師團司令部(參謀部) 勤務ヲ免ス (二月十九日附) 伊藤 國 三

六 免 機關銃中隊 陸軍一等兵 中 西 藤 茂 吉

七 右春頭書通リ 昭和十九年度第一次初年兵 鍛工修業者ヲ免命ス 山田 岩 次 郎

陸軍伍長 西 井 哲 三

陸軍兵長 上 村 功 哲

陸軍上等兵 大 野 保 男

陸軍上等兵 山 中 秀 雄

陸軍上等兵 山 口 正 夫

右者遺骨護送員ヲ命ス 依テ明ニ六日八時三十分 出發 石第四二八一部隊ニ護送シタル 後速ニ歸隊スベシ

服装ハ徒手帶劍卷脚絆トシ略綬佩用トス  
増加歩哨ハ右護送間掩護ニ任スベシ

右春石第四二八一部隊ニ轉屬ヲ命ズ  
 陸軍衛生上等兵 高木 孝 臣  
 右春大隊本部醫務室 功務ヲ免ス  
 陸軍上等兵 片岡 幹 藏  
 右春師團司令部(參謀部) 勤務ヲ免ス  
 (一月十九日附)  
 伊藤 藤 國 三  
 免 機關銃中隊 陸軍一等兵 中 西 茂 吉  
 命 同  
 右頭書通リ昭和十九年度第一次初年兵 鍛工修業者ヲ免命ス  
 山田 岩次 郎  
 免 第三中隊 陸軍一等兵 細井 大 三  
 命 同  
 右春頭書通リ昭和十九年度第一次初年兵 喇以修業者ヲ免命ス  
 陸軍伍長 西井 哲

石丸六會館第一二一號

會 報

一月二十五日(六) 玉城國民學校

一 今次情勢變化に伴ヒ兵業ハ自ラ從前ト異ル方向ニ歩ム  
 此際各隊ハ一層訓練ニ透徹シ持ニ曩ニ示達セル緊急課目訓  
 練ヲ反覆以テ精到ヲ期セシレ度  
 二 部隊ハ一月十日ヲ以テ昭和十八年軍令陸甲第三十六號ニ據ル編制ニ  
 復歸セシニ付キ承知ノコト  
 三 故陸軍兵長福屋學以下四柱ノ英靈ハ明二十六日八時三十分出發  
 還送セラルニ付キ各隊各級代表者ハ本部表明於テ見送  
 コト  
 四 左ノ如ク月例身体検査日割ヲ追加ス  
 左

月 日	時 間	受 檢 部 隊	場 所
一月二十六日	一〇、〇〇	江 戸 隊	本部醫務室
同	一〇、四〇	外 山 隊	同
一月二十七日	一〇、〇〇	前日ノ脱漏者	同





第一	第二	第三	第四	第五	第六	第七	第八	第九	第十
...	...	...	...	...	...	...	...	...	...

石上五作命第ハ號

獨立步兵第十五大隊命令

一月二十六日 嘉部

一 軍ハ沿岸海上局地輸送力強化ヲ企圖シ木造

船造船ヲ實施セラル

二 大隊ハ石上命下第ニ三號ニ基キ造船要員ヲ差出

シ軍經理部長ノ指揮下ニ入ラシムベシトス

三 第一第二第三第四第五各中隊長ハ各々兵一ヲ

明後ニ十八日五ヨリ迄ニ本部ニ差出シ三輪大尉ノ指

示ヲ受ケシムベシ

服裝ハ軍裝ニシテ各自毛布ニ携帶口糧甲二日乙

一日分及晝食ヲ携行セシメ且俸給ハ三月分迄ヲ支

給スルモノトス

四 三輪大尉ハ前項人員ヲ先任者ト列スヲ以テ二十八日

一四ヨリ迄ニ嘉部納驛前ニ到ラシメ軍經理部長ノ

指揮下ニ入ラシムベシ

大隊長 飯塚豊三郎

下達法 要旨電話後印刷交付

配布先 各中隊長 TLIP (620 648 参考)

石第三五九六部隊日々命令

五月二十六日  
城國民學校

一 石第四二八部隊附 陸軍曹長

同 眞子友照

大淵鐵之助

二 右者石第三五九六部隊轉屬ヲ命ス

第五中隊 陸軍曹長

眞子友照

第三中隊 同

大淵鐵之助

三 右者頭書中隊附ヲ命ス

陸軍少尉

淺尾金藏

免作業小隊長

四 第三中隊

陸軍曹長

道脇榮造

機關銃中隊

陸軍曹長

山本未松

第五中隊

同

大江町秋

第一中隊

同

岡南

五 右頭書中隊附ヲ命ス

陸軍曹長

谷口南

通信班

同

岡南 弘



- 六 右頭書勤務ヲ命ス 陸軍軍曹 大工町秋郎 (以上一月十一日附)
- 七 作業小隊長ヲ命ス 陸軍軍曹 眞子友照
- 八 右本部事務室兼務ヲ命ス 陸軍上等兵 内田仁太郎
- 九 右者部隊長傳令トシテ大隊本部勤務ヲ命ス 陸軍上等兵 船橋鐵男
- 免第五中隊 陸軍上等兵 德谷鐵男
- 右頭書通リ昭和十九年度第一次初年兵喇以修業者ヲ免命ス 陸軍上等兵 河原良宏
- 免 陸軍一等兵 柳田淑良
- 右頭書通大隊本部馬取扱兵ヲ免命ス 陸軍一等兵 渡井徳志
- 通信班 陸軍一等兵 馬場利一
- 作業小隊 同
- 右者當分間本部情報室ニ於テ勤務スベシ

實施場所	一ニ八五高地南側台上及分村附近
實施射方向	一長毛方向ニ溪川方向 三二四三高地北西方向
彈種	小銃 一五ロ發
機	五ロ發

一 明ニ十七日一四ロヨリ經理室ニ於テ別紙計畫表ニ基キ事務用消耗品及非常用陣内木炭、博息用水甕ヲ交付スルニ付一月二十七日付ニテ需要傳票發行持參セラレ度  
 二 明ニ十七日ヨリ富名腰及富里ニ於テ管外酒保ヲ開設(富里ハ既ニ開設中)スルニ付一般ニ利用セラレ度  
 賣品  
 饅頭一個 二ロ錢    センザイ 一杯    二ロ錢

二十五日日々命令追加  
 一 本職地理實査ノ爲明二十六日即日歸隊豫定ヲ以テ中西附近ニ出張ス  
 三 輪大尉ハ木本少尉ハ本職ニ隨行スベシ

石丸六會第ニニ號

會報

一月二十六日一六〇  
 玉城國民學校

一 松田隊ハ明ニ七日左記ノ如ク基本第一習會實員包射撃ヲ實施ス  
 左記

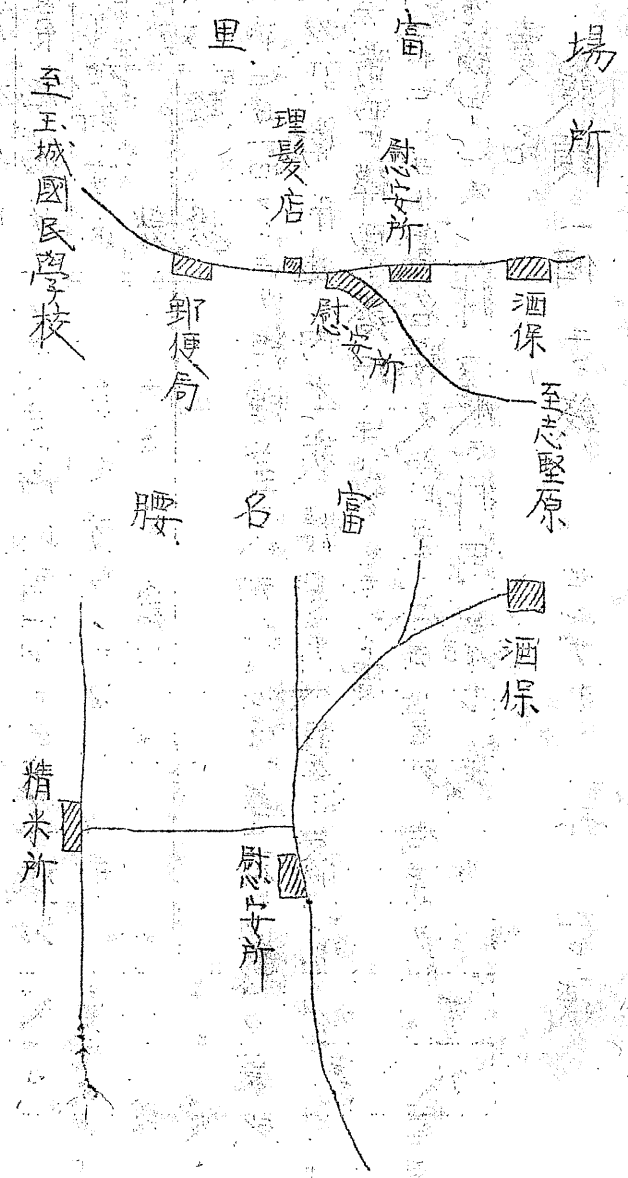
事項	射撃区分	第一回	第二回
實施時間		自〇八三〇至一一三〇	自一二三〇至一七三〇
實施場所		一三八五高地南側台上及分校附近	
實施射方向		一長モ方向ニ溪川方向	三二四高地北西方向
彈種	小銃	一五〇發	一〇〇發
	輕機		五〇發

二 明ニ七日一四〇〇ヨリ經理室ニ於テ別紙計畫表ニ基キ事務用消耗品及非常用陣肉木炭樽息用水襪ヲ交付スルニ付一月二十七日付ニテ需要傳票發行持參セラレ度  
 三 明ニ十七日ヨリ富名腰及富里ニ於テ營外酒保ヲ開設(富里ハ既ニ開設中)スルニ付一般ニ利用セラレ度

賣品  
 饅頭一個ニ〇錢  
 センダイ一杯ニ〇錢

專勞用消耗品及國內木炭水壘交付計畫表

品名	單位	本部	各部隊	通信	作業	區室
和紙白	枚	2000	500	500	200	300
和紙金	枚	200	100	100	100	100
和紙半	枚	400	200	100	100	100
兩面紙	枚	400	200	100	100	100
巨紙	枚	2000	1000	1000	500	500
通信紙冊	冊	5	1	1	1	1
複寫紙黑	枚	20	10	10	10	10
赤	枚	20	10	10	10	10
鉛筆	本	3	1	1	1	1
膠用原紙	枚	200	100	100	100	100
封筒小	枚	200	100	100	100	100
木炭	張	20	10	5	2	2
水壘	個	6	3	2	2	2



一月二十七日晴

土曜 於五城國民學校

移駐準備一

大隊の移駐準備ニ莫全ク期ス

作戰命令二

大隊の石下命令ヲ第ニ號ニ其スル探隊要旨ヲ差込キトシ別紙

日之命令三

命令ニ依リ別紙石下命令ニ依リテ下達ス  
補給班長ヲ第ニ號ニ任シ陸軍中隊長  
第ニ號ニ任シ陸軍中隊長  
第ニ號ニ任シ陸軍中隊長

免職步兵兵隊第十五大隊中隊長  
陸軍中隊長 天倉廉一郎

免職步兵兵隊第十五大隊中隊長  
陸軍中隊長 天倉廉一郎

免職步兵兵隊第十五大隊中隊長  
陸軍中隊長 天倉廉一郎

免職步兵兵隊第十五大隊中隊長  
陸軍中隊長 天倉廉一郎

免職步兵兵隊第十五大隊中隊長  
陸軍中隊長 天倉廉一郎

免職步兵兵隊第十五大隊中隊長  
陸軍中隊長 天倉廉一郎

免職步兵兵隊第十五大隊中隊長  
陸軍中隊長 天倉廉一郎

免職步兵兵隊第十五大隊中隊長  
陸軍中隊長 天倉廉一郎

免職步兵兵隊第十五大隊中隊長  
陸軍中隊長 天倉廉一郎

免職步兵兵隊第十五大隊中隊長  
陸軍中隊長 天倉廉一郎

免職步兵兵隊第十五大隊中隊長  
陸軍中隊長 天倉廉一郎

免職步兵兵隊第十五大隊中隊長  
陸軍中隊長 天倉廉一郎

免職步兵兵隊第十五大隊中隊長  
陸軍中隊長 天倉廉一郎

免職步兵兵隊第十五大隊中隊長  
陸軍中隊長 天倉廉一郎

免職步兵兵隊第十五大隊中隊長  
陸軍中隊長 天倉廉一郎

免職步兵兵隊第十五大隊中隊長  
陸軍中隊長 天倉廉一郎

免職步兵兵隊第十五大隊中隊長  
陸軍中隊長 天倉廉一郎

免職步兵兵隊第十五大隊中隊長  
陸軍中隊長 天倉廉一郎

免職步兵兵隊第十五大隊中隊長  
陸軍中隊長 天倉廉一郎

免職步兵兵隊第十五大隊中隊長  
陸軍中隊長 天倉廉一郎

免職步兵兵隊第十五大隊中隊長  
陸軍中隊長 天倉廉一郎

免職步兵兵隊第十五大隊中隊長  
陸軍中隊長 天倉廉一郎

免職步兵兵隊第十五大隊中隊長  
陸軍中隊長 天倉廉一郎

免職步兵兵隊第十五大隊中隊長  
陸軍中隊長 天倉廉一郎

免職步兵兵隊第十五大隊中隊長  
陸軍中隊長 天倉廉一郎

免職步兵兵隊第十五大隊中隊長  
陸軍中隊長 天倉廉一郎

免職步兵兵隊第十五大隊中隊長  
陸軍中隊長 天倉廉一郎

免職步兵兵隊第十五大隊中隊長  
陸軍中隊長 天倉廉一郎

免職步兵兵隊第十五大隊中隊長  
陸軍中隊長 天倉廉一郎

免職步兵兵隊第十五大隊中隊長  
陸軍中隊長 天倉廉一郎







石九六日命第一二五號

石第三五九六部隊日々命令

五城國民學校  
二十七日

一 步兵第六十四旅團司令部附 陸軍中尉 岸 本 孝

補獨立歩兵第十五大隊中隊長

二 第五中隊長ヲ命ズ 陸軍中尉 天倉 廉一郎

免獨立歩兵第十五大隊中隊長

補獨立歩兵第十五大隊附 陸軍少尉 奈 良 健

三 第四中隊長ヲ命ズ (以上一月二十五日附)

免通信班長 陸軍中尉 天倉 廉一郎

四 命通信班長 陸軍中尉 道 久 惠

五 第五中隊長附ヲ命ズ (以上二月二十五日附)

六 本職部隊長會同參列、爲本二十七日即日歸隊、豫定ヲ以テ石第

二八二部隊ニ出張ス  
三輪大尉ハ本職ニ隨行スベシ

石丸六會月報 二三號

會

報

一月二十七日 玉城國民學校

一 明二十八日各隊、使用セル勞務者賃金(三十一日以後) 宿舍料  
 (三十日ヨリ月末迄、分) 並築城材料ハヲ支拂ニツキ支拂資料並  
 區長印鑑持參、上經理室ニテ受領セラレ度  
 尚整理、都合上必ず明日中ノコト